

発行日 2007年11月15日  
発行：盲人情報文化センター 録音製作係  
〒542-0071 大阪市中央区道頓堀1丁目東3番23号  
道頓堀千鳥ビル  
電話06-6211-0910(録音製作)

## 記号の読み方を考える

久保 洋子

「かんたんぎもんふ」わかりますか？ 音声訳に関わっているあなたはわかって、ご家族や友人だれでもわかるのか一度確認してみてください。

墨字の本には目で見ればすぐにわかるけれど何と読んだらいいのかわからない記号がよく登場します。「マニュアル」にはこういう記号の読み方が出ていますが、これらを使う前に一寸考えてみてください。

前にも書きましたが、録音図書の利用者は録音図書について特に学習しているわけではありません。ということは音声訳者だけにわかる特別な読みは「利用者には伝わらない」ということです。

「マニュアル」には「ダブルだれ」「ろくてんリーダー」など印刷の業界用語と思われるものも出ています。

墨字の記号を「マニュアル」に従って読むことで書かれている中味が正しく伝わるかどうか、その都度確認することが大切です。

中味を正しく伝えようとすると、同じ記号はい

つも同じ読みというわけにはいかないこともあります。例えば、「・・・・」は「中略」の意味で使われることが多いのですが、いつも「中略」ですますと、おかしいことも起こります。原文の伝えようとするのを正しく伝えられるように記号の読みもその都度そこにふさわしい読みを考えて下さい。

「マニュアル」などに出ている読みは、一度、広辞苑、大辞林などで当たってみてください。出ていないもの、出ていても「業界で使われる記号」などとあるものについては、そのまま使うのは危険です。

「原本通り」は見たままという事ではなく、記号などを使って原本が伝えたいことを正しく音にすることだということを改めて確認したいと思います。。

### 『自宅録音チーム』勉強会

11日(火) 『マトリョーシカ』 10時～12時  
19日(水) 『はなみずき』 1時半～3時半  
20日(木) 『二十四の瞳』 10時～12時

### 『プライベートチーム定例勉強会』

12日(水) 1時半～3時

### 『スタジオ曜日別チーム』勉強会

17日(月) 『月曜チーム』  
18日(火) 『火曜チーム』  
『水曜チーム』 お休み  
13日(木) 『木曜チーム』  
『金曜チーム』 お休み  
15日(土) 『土曜チーム』

土  
月  
録  
音  
製  
作  
予  
定  
表

### 『専門図書音訳チーム』勉強会

8日(土) 『古典チーム』 1時～3時  
21日(金) 『東洋医学チーム』 10時半～5時  
22日(土) 『パソコンチーム』 1時半～4時  
21日(金) 『英語チーム』 10時半～3時  
『理数チーム』 お休み (奇数月)

### 『橋本勝利のフォローアップ講座』

12日(水) 1時～3時  
14日(金) 1時～3時

### 『2008年 音訳基礎講習会 (全15回)』

※3月4日(火)スタート 午前10時～12時

## 校正について 第2回

# はじめに原本を見ないで聞いてみましょう

大林 緑

校正を依頼された本や音が届いたらまず原本を見ないで聞いてみてください。  
原本なしで聞いてみて、本の作りや目次をはじめとした全体の構成がわかるように読まれているか、確認してみてください。それから原本全体に目を通してください。  
どんな本ですか？小説のようにそのまま流して読書が出来る本ですか？年齢層は？旅行本や医学関係、冠婚葬祭など内容の一部を利用するもの、また、問いと答えの組み合わせになっているものなどさまざまあります。耳だけで聞いた本の印象と実際の本の内容とがあまりにも違っているようなことはありませんか。表表紙・裏表紙・原本奥付にも目を通してください。あとがきなどは本文全体に関わることが書かれている場合があります。  
ルビはどの程度付いていますか？図・表・写真はありますか？  
どんな仕組みになっているかを確認して、何か工夫が必要な箇所はないか校正者としても考えて下さい。  
以下「録音の順序」（2007年版）に沿って校正していきましょう。

### 「録音の順序」

『〇〇〇（書名） 〇〇〇（副書名） 〇〇〇著（作・編・訳） 〇〇〇画  
日本（ニッポン） ライトハウス盲人情報文化センター  
20〇〇年製作（完成年）』

- 書名・副書名・著者名（编者・訳者名・・・）
  - 注意1：書名、副書名を著者より先に読む。
  - 注意2：外国語の原題、著者のシリーズ名は、書名・副書名の後に読む。
  - 注意3：書名はルビを優先して読み、書名の字の説明が必要な時には著者名（编者・訳者名）の後で入れる。
  - 注意4：出版社のシリーズ名は奥付で読む。
- 製作館名
  - 注意1：日本ライトハウス盲人情報文化センター ○にっぽん ×にほん
- 製作年
  - 注意1：年号は西暦で読む。
  - 注意2：製作年はダイジイ図書が完了した年とする。
  - 注意3：最後の枠アナには製作年月日まで入れる。  
※始めの製作年は終わりの枠アナの製作年と合わせる。

### (校正のポイント)

- ◎ 書名・副書名・著者名の順序になっていますか？
- ◎ 書名・副書名・著者名（作・編・訳・画・・・）等の読み方は原本奥付や館の図書カードなどで確認する。  
書名や著者名（作・編・訳・画・・・）は絶対に間違ってはならない箇所です。  
分かりきった名でも必ず確認して下さい。
- ◎ 著者のシリーズ名とは  
「大沢在昌著 氷舞 新宿鮫シリーズ6」 など  
出版社のシリーズ名とは  
「岩波文庫 緑15-1」 など
- ◎ 製作年は必ず完成年とする。  
ここでは読み始めの年が入っていることが多い。  
読み終わりとの統一のために、読み始めの年を巻末の原本奥付辺りに記録しておき、読み終わりに違う場合は音声訳者に入れ替えを依頼します。

次回は「原本凡例」です。

## 専門図書音訳チーム パソコンチーム

パソコンチームとってパソコンの勉強をしているのでも、パソコンの達人でもありません。パソコン関連の本を音訳しているチームです。今やWindows Vistaの時代ですが12年前にWindows 95が出て以来、パソコンは私たちの身近のものとなり、視覚障害者にも大きな福音をもたらしました。

そのころからパソコン関連の本を何冊か読むことができましたが、7年前からは日経BP社発行の雑誌「日経パソコン」を読んでいます。

この雑誌は隔週に発行されるため2冊分をまとめて抜粋し、毎月デイジー版を発行しています。そして毎月最終土曜日の例会にはその月号の作品について重箱の隅をつつきあっています。

メンバーは15名でほとんどが家庭録音のため、読んだものはデイジー編集してFIP（インターネット

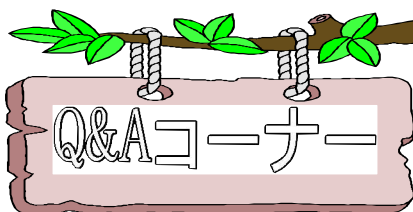
トを介して、音源データのやり取りを行えるシステム）にアップし、それを編集者がdownloadして編集しています。

本の内容については「何のことやら？」と、アナログ人間には別世界の記事もありますが、それを如何にも「わかっているごとく」音訳する技術に長けてきました。

もちろん、この本から多くのことを学びましたが、近畿各地から集まっている私たちですので、見かけましたらお声をかけていただくと嬉しく思います。  
(K.H)



第4土曜、定例勉強会



デイジー編集でグループを使うのはどんなケースですか？



グループを付けるとその箇所へ飛んだり戻ったりできます。索引などでア行、カ行などの頭に付けたり、都道府県単位に並べられた表などに付けたり、年表の年代の区切りに付けたり、長い登場人物の紹介の時とか、文章の段落ごとに付けたりと活用は様々です。また、飛ぶことができるので図、表などはじめとおわりに付けると、聞き手が長い図、表などで飛ばしたいと思うときに飛ばすことができます。時々写真などにもグループを付けることができますが、写真の時には必ず付けるとは限り

ません。写真が沢山あり、説明が何枚も続くような時などは、飛ばしたい思うときに活用できますが、「〇ページ写真〇〇写真おわり。」などときわめて短いコメントの時や、全部で1、2枚しかない写真にグループを付けるかどうか検討する必要があるでしょう。デイジー図書凡例で「写真にグループを付けていること」を断ると、聞き手は写真が沢山あるのかと誤解しそうです。いつまでたっても写真が出てこないといったことにもなります。

## 各種講座のお知らせ

# 2008年『音訳基礎講習会』のご案内

盲人情報文化センターでは、当センターの蔵書となる「録音図書」や利用者からの依頼のある図書を製作する為の「音訳基礎講習会」を実施します。この講習会は、

- ①自宅で録音ができる方、
- ②発声の基礎的な訓練を終了している方、
- ③講習会終了後、盲人情報文化センターの録音図書製作の活動に参加できる方、

が条件です。

**(※ 但し、専門分野（理数、東洋医学、外国語、etc.）の知識をお持ちの方は①②の条件は免除します。)**

受講を希望されます方は、申込用紙に必要事項を記入の上、盲人情報文化センター録音製作係までお送り下さい。メールまたはFAXでも受け付けます。

実施時期： 2008年3月4日（火）～2008年6月24日（火） ※毎週火曜日 10:00～12:00

会場： 盲人情報文化センター

- 講習内容：
1. 読み方の基本
  2. 記号、漢字、図、表などの音声変換処理
  3. PRSソフトを使用した録音技術
  4. 録音の順序、調査など

詳しくは「盲人情報文化センターのホームページ 耳より情報」に掲載中

→ <http://www.iccb.jp/info/mimiyori.html>

## 専門図書音訳講座

# 古典コース(全5回) 受付中

専門図書音訳講座「古典コース」が下記の日程でスタートします。受講希望者は係までお申し出ください。但し、申込者が多数の場合は係で選考させていただきます。

今回は「枕草子」「今昔物語」「方丈記」「玉かつま」などの読み方の他、漢文の基礎も学びます。

講師 佐久間かず子 氏 (近畿視情協古典チームリーダー)

期間 2008年2月16日(土)～3月15日(土)

毎週土曜 午後1時半～3時半